



泉丘SSHだより

石川県立金沢泉丘高等学校



第3号 H16.6.11
編集: SSH推進室
発行: 上田 政憲

特別講演会開催



5月14日(金)に、今年度の特別講演会が開催されました。

本校第35期卒業でサイエンスジャーナリストの喜多充成氏をお招きし、「科学と技術の現場で見たモノ、触れた人」という演題でご講演いただきました。

講演会終了後、講演会についてのホームページもアップロードしていただき、生徒たちから好評だったロケット打ち上げ時の音声も掲載していただきました。



ホームページアドレスは

<http://www.mkita.com/ssh/>

です。



生徒感想文

私は喜多さんの講演を聞いて、今までよりも一層、科学に関する興味が湧いてきた。私がこれまでの経験から学んだサイエンスというものは、ただ単に教科書や資料集にとらわれたものだとわかった。喜多さんのお話を聞いていると、自分自身が抱くサイエンスとはなんて視野が狭く、おもしろみのないものなのだろうと感じた。これから、数多くの科学と接する私にとって、新しい考えが得られたとても良い機会であった。

喜多さんのお話の中では、宇宙化学やコンピュータの分野までいろいろあった。その中で何よりも強く感じたものがある。それは、喜多さんのサイエンスに対する姿勢である。科学が好きでなければ、何も始まらない。よく『好きこそものの上手なれ』という言葉に耳にするが、まさにこのことである。

また、講演の中で、「すばる望遠鏡」を造る際に人の命が失われたという話があった。科学者達には自らの命を絶つような場面も存在すると知った。それでも多くの科学者がいるということは、科学には人を引きつける魅力があるのだと、私は思う。

後期になれば、私たちも多くの科学と触れることができるのである。研究施設や大学での実験、講師の先生方からのお話など、一つ一つのことに誠意を持って取り組みたいと思う。そして、科学の良さやおもしろみを自分なりの角度から発見していきたい。そして、さらに科学に対する視野を広げていきたいと思う。これから、ますます科学に興味を持てるように何かと工夫していきたい。

最後に喜多さんは、「科学の現場に携わることが大切である。」と言っていた。私もこの言葉のように、数多くの現場に携われたらと思う。そして、自分のやりたいことのキーワードを見つけ出していけたらと思う。

内閣府担当官視察



6月1日(火)の午後から、内閣府及びJSTの3名の方が、SSH視察のため来校され、「コスモサイエンス」の授業を視察されました。

「コスモサイエンス」では、JSTが開発したデジタル教材「音の実験教室」と、

昨年度及び今年度の2カ年にわたりSSH予算で購入したコンピュータ20台を活用した「音波実験」が行われました。普段の物理実験とは一味違い予想を越えた結果に、「なぜ? どうして?」と頭を抱えてしまう場面もありましたが、『発展的な学習により課題追求力を育成する』という「コスモサイエンス」のねらいどおりの授業となりました。

事業日程について

未定であった交流会等の日程が決定しましたのでご報告いたします。

| | | |
|---------------|----|------------------|
| AIプロジェクト中間発表会 | 日時 | 7月12日(月) |
| | 場所 | 本校 大会議室 |
| | 対象 | 理数科2年生 |
| 七尾高校との交流会 | 日時 | 7月3日(土) |
| | 場所 | 金沢大学理学部附属臨海実験所 他 |
| | 対象 | 理数科1年生 |
| 全国SSH交流会 | 日時 | 8月10日(火)・11日(水) |
| | 場所 | 東京ビッグサイト |
| | 対象 | 理数科2年生の代表3名 |
| 高志高校との交流会 | 日時 | 8月21日(土) |
| | 場所 | 福井県立高志高等学校 |
| | 対象 | 理数科1年生 |

AIプロジェクト進捗状況

7月に中間発表会をひかえ、各班とも研究が本格化してきました。



JSTの備品を活用し実験をするグループ、黒板を使い定理などを検証するグループ、中間発表用の資料を整理するグループなど、研究形態は様々ですが、各班とも熱のこもった研究活動を進めています。

あしがき

先日の大雨で、白山野外実習で通る予定の別当出合の吊橋が流出してしまいました。現在のところ、実施予定で事前研修などを進めています。新しい吊橋の工事状況によっては、日程の変更等があるかもしれません。SSH指定前から続く理数科の伝統行事であり、楽しみにしている生徒が多いだけに、1日も早く吊橋の復旧工事が終了し、予定通り実施できることを願わずにいられません。